

政務活動旅行報告書

報告者：野本 篤



【研修概要】

日 程：平成31年1月17日（木）～18日（金）2日間コース

場 所：滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所（JIAM）

研修名：市町村議会議員研修 自治体財政の見方 “健全化比率を中心に”

ねらい：基礎的な講義に加えて指標分析を行う演習も交えて

健全化判断比率を中心に、自治体財政の見方を学ぶ。

【研修の概要】

1日目 講義① 13:00～14:10

講義名：地方自治体の財政運営と議員の役割

講義② 14:25～15:35

講義名：自治体財政指標の見方

2日目 講義③ 9:25~12:00

講義名：財政指標分析に関するグループ演習

講義④ 13:00~14:10

講義名：演習のまとめ及び今後の自治体財政のポイント



講師 講義①

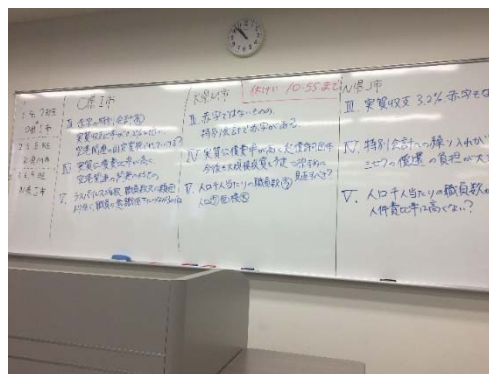
稲沢 克祐 氏

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授

講師②~④

小室 将雄 氏

有限責任監査法人 トーマツ 公認会計士



【考 察】

議会議員は選挙によって市民から選ばれ、市民の代表として、市民から預かる大切な税金を首長および行政がどのように使用するかを審議し議決する重責を担っている。その為には自治体財政の中身を把握し、将来を見据えた税金の使い方を意見できるようにすることが必要と考える。

しかし、選挙に出馬する条件として「過去直近5年の自治体財政が理解できていること」などという項目はない。当選後すぐに見たこともない予算書を見て、訳も分からず見当違いな要望ばかりを口にしてしまう。恥ずかしながら自分がそうであった。経年により慣れと共に単語や内容を理解していったが、未熟を自覚している。

今回の研修は先述したように未熟な部分を学ぶいい機会と思い申し込んだ。

前半の座学においては、自治体財政における議員の議決の重要性と財政健全化に向けた総論と自治体が公表している財政状況資料集の基礎知識と議員と議会に必要とされる姿勢や期待について講義がなされた。

後半は参加者をグループに分け、匿名自治体の財政状況資料集を使用しながら、財政状況や課題をグループ内で意見交換をして全体に発表をした。参加議員の熟度が違うことは露呈するが刺激ある時間となった。

自治体の決算について年度が終わってから半年以上後に審議され、その際に出された意見や改善が反映されるのは、その翌年度となり遅れを感じている。議員の任期4年における決算での審議や意見を述べることは、極めて重要なことと感じる。

2日間の研修だけで、全ては理解できたとは言い切れないが、今回の研修を今後の議会審議に活かしていきたいと考えている。